

打越町わがまち防災マップ

保存版

打越町の名前の由来

現在の太田川に整備される前、広島市内は度々大洪水に襲われていました。旧太田川の氾濫時に水を流す為、あえて堤防を低くした場所から浸水してたまたま水は「内」から外(旧山手川、旧福島川)に「越」して流れ出ていたそうです。その位置「内越」が「打越」の町名になったと言われています。

太田川氾濫時 洪水マップ

約200年に1回起る大雨で、太田川流域において2日間の総雨量が396mmの降雨がある場合、太田川が氾濫する可能性もあります。(平成29年4月19日公表)

- 住んでいる場所での浸水深を確認し、避難方法を検討しておきましょう。
- 水平避難される家庭は、避難経路を地図に書き込んでおきましょう。



打越町の住民の方から
お聞きしました!

打越町の危険な場所 ★

打越町は JR横川駅北口に面しており比較的 交通量が多いわりには、信号機が少なく歩行者と車の接触の危険箇所が多い地域です。



大雨の際にいつも冠水する場所 ★

過去最大降雨時 (雨量 121mm/h) の浸水想定図

太田川に流れずに冠水しやすい場所を確認しておきましょう。
また今後、更に予想以上の降水量になった場合は家屋の浸水も考えられますので、浸水に備えておきましょう。



※このマップは広島市防災まちづくり基金を活用した防災まちづくり事業により作成したものです。

令和6年3月作成 打越町町内会自主防災会

(監修:西区地域起こし推進課)

いつ起こるか分からない地震の対策を!

三條小学校区防災カルテ

"三條小学校区防災カルテ"を参考に減災対策をしましょう!

□ 家具の転倒防止対策はできていますか?

2種類の金具を使用する事で強度を高める事ができます。

□ 避難経路は確保できていますか?

住宅の耐震性を確認しておきましょう。

耐震性の低い家に住まれている方は、地震が来た時には外に逃げましょう。

廊下や玄関近くにはモノを多く置かないようにしましょう。



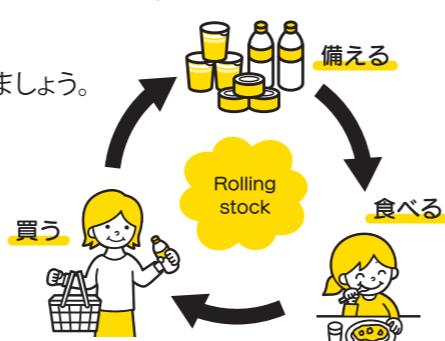
□ 家族で避難場所(集合場所)を相談していますか?

災害時は通信が途絶える可能性があります。家族で話し合っておきましょう。

□ ライフラインが止まっても在宅避難できるよう準備しておきましょう!

飲食物はローリングストックで備蓄をしておきましょう。

排泄問題により健康状態が悪くならないように、簡易トイレの準備はしておきましょう。



□ 災害の疑似体験を経験して心を強くしておきましょう!

ライフラインの無い生活を体験しておきましょう。

体験学習施設に行ってみましょう。

広島市総合防災センター 広島県広島市安佐北区倉掛2丁目33-1

□ 防災情報はアプリで確認!

広島市が運用する公式防災アプリ「避難所へGO!」内の「防災ハンドブック」では

広島市の防災普及啓発ハンドブック「たちまち防災」を見ることができます。

災害時の備えや災害時に取るべき行動などが基本的な内容が掲載されています。



ダウンロードはコチラから!
※共通QRコード



冊子は、各区役所地域起し推進課に
置いてあります。

1. 想定地震(この小学校区で最も被害が発生する地震と被害想定シーン)

己斐一広島西縁断層による地震(冬 深夜、風速11m/s)



2. 自然現象

最大震度	液状化危険度(最大値)
6強	極めて高い
土砂崩壊危険箇所(Aランク)	津波浸水面積(ha)
8	最大浸水深(m)
	0.0
	0.0

・最大震度

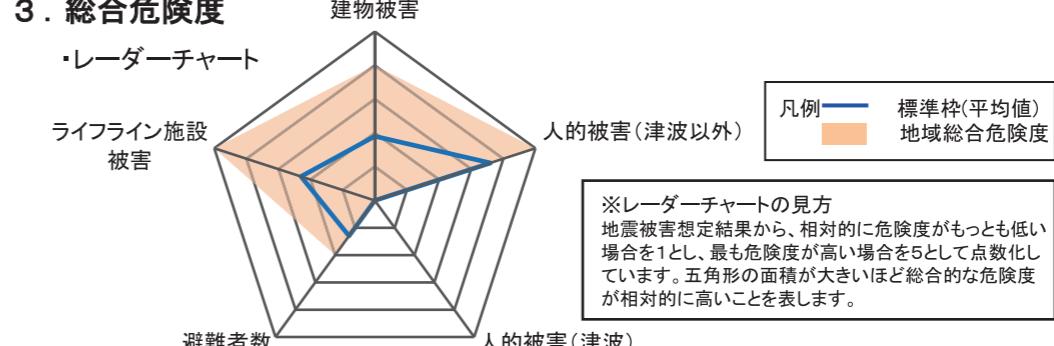


(出典:気象庁「震度を上手につかう」)

震度 6 強

- 立っていることができず、はわないと動くことができない。
- 揺れにほんろうされ、動くこともできず、飛ばされることもある。
- 固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが多くなる。
- 壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する建物が多くなる。
- 補強されていないブロック塀のほとんどが崩れる。
- 大きな地割れが生じることがある

3. 総合危険度



4. 建物被害想定

・原因別建物被害棟数

	揺れ	液状化
全壊棟数(棟)	203.7	10.0
半壊棟数(棟)	679.0	16.0
焼失棟数(棟)	-	-

5. 人的被害想定

・原因別人的被害者数

	建物倒壊	うち、屋内収容物
死者(人)	8.3	0.4
負傷者(人)	171.8	9.9
重傷者(人)	14.3	1.9

6. ライフライン被害想定(被災1日目)

断水人口(人)	下水道支障人口(人)	停電軒数(軒)	固定電話不通回線数(回線)
288.5	11,536.9	1,573.3	696.5

■防災カルテの見方

- 想定地震：この小学校区で総合危険度が最大となる想定地震を知りましょう。総合危険度が同じ場合には死者数の多い想定地震を示します。
- 自然現象：想定地震による揺れの程度、液状化発生の程度、土砂災害発生箇所数、津波による最大浸水深の想定結果を知りましょう。
- 総合危険度：標準値(平均値)からはみ出している指標について注意しましょう。例えば、左下半分が標準値(平均値)からはみ出している小学校区は、避難者が多く発生し、高齢者などの要配慮者に対する対策が特に必要となる傾向にあります。
- 建物被害想定：想定地震による建物への被害状況を知りましょう。
- 人的被害想定：想定地震による人への被害状況を知りましょう。
- ライフライン被害想定：想定地震による上水道、下水道、停電、電話不通の被害程度を知りましょう。